

# 第63期 株主通信

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

## 佐藤食品工業株式会社

証券コード：2814

### 株主の皆様へ

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。  
ここに、当社第63期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の事業の概況をご報告申しあげます。

平成29年6月

代表取締役会長兼社長 佐藤 仁一

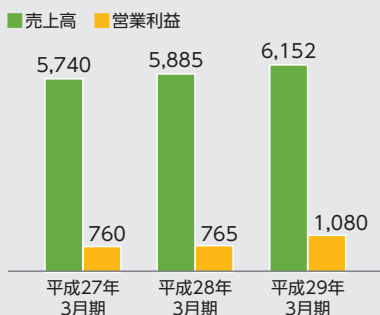
### 業績ハイライト

弊社WEBサイトでは、決算短信や有価証券報告書など、詳細な財務情報を提供しております。

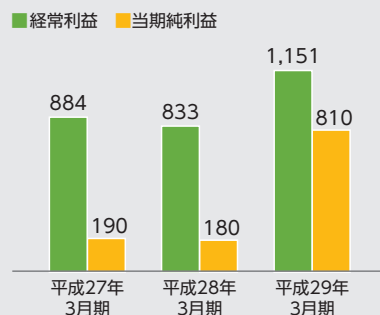
佐藤食品 IR

検索

#### 売上高／営業利益 (単位：百万円)

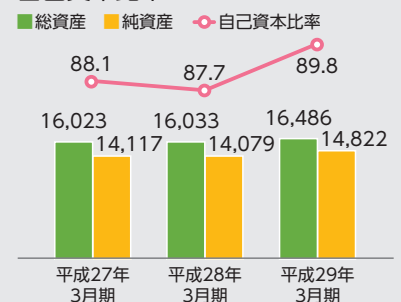


#### 経常利益／当期純利益 (単位：百万円)



#### 総資産／純資産 (単位：百万円)

#### 自己資本比率 (単位：%)



### 役員一覧 (平成29年6月27日現在)

代表取締役会長兼社長	佐藤 仁一
代表取締役専務	清水 邦雄
取締役	鈴木 宗行
取締役	川出 明史
取締役	上田 正博
取締役相談役	長谷川 憲治
取締役(社外)	秦 博文
監査役	垣見 泰年
監査役(社外)	申田 正克
監査役(社外)	稲石 純二

### 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式の総数	27,000,000株
発行済株式の総数	6,246,605株 (自己株式3,079,855株を除く)
株主数	1,386名

### 会社概要 (平成29年3月31日現在)

本社	愛知県小牧市堀の内四丁目154番地
設立	1954年10月
資本金	36億7,227万5千円
従業員	169名
工場	本社工場 愛知県小牧市 第二工場 愛知県小牧市 第三工場 愛知県春日井市

### 株主優待制度のご案内

対象	毎年3月31日現在の株主名簿に記載された500株以上の株式を保有される株主様
優待内容	500株～999株 1,000円相当の当社製品(茶エキス粉末)
	1,000株以上 3,000円相当の当社製品(茶エキス粉末)
発送時期	毎年6月を予定しております

### 佐藤食品の茶エキス粉末

当社の茶エキス粉末は、水に溶かすだけで、誰でも簡単に本格的なお茶をつくることができます。冷水にもお湯にもサッと溶けるので、大変便利です。おいしさはもちろん、持ち運びも簡単で茶殻が出ない等、様々な特徴を有しております。是非この機会にご賞味ください。

[写真は 3,000円相当の当社製品(茶エキス粉末)]



### 単元未満株式の買増・買取制度について

口座のある証券会社へお申し出下さい。特別口座を開設されている株主様は、口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社(TEL 0120-782-031)までお申し出下さい。

# サトーは、独自の「粉末化」技術で 天然食品の可能性を追求し、グローバルワンを目指します

## 製品分野のご紹介



### 茶エキス ● 売上高: 3,081百万円

緑茶、ほうじ茶、紅茶、烏龍茶、麦茶、玄米茶、抹茶、ジャスミン茶、ルイボス茶等

お茶本来の風味を余す所なく粉末化

用途

インスタント茶、給茶機・カップ式自動販売機、製菓、健康食品など



### 天然調味料 ● 売上高: 2,394百万円

鰹節エキス、昆布エキス、椎茸エキス、酢、醤油、ベースアップ調味料等

※粉末調味料と液体調味料を合算して算出しております。

天然素材の豊かな味と香りを閉じ込めました

用途

つゆ、たれ、スープ、ドレッシング、製菓、プレミックスなど



### 植物エキス ● 売上高: 525百万円

イチゴ、レモン、巨峰、りんご、バナナ、オレンジ、ブルーベリー、栗、ゆず、ネギ、生姜等

果実や野菜のフレッシュな風味をそのまま粉末化

用途

製菓、健康食品、粉末飲料など



### 粉末酒 ● 売上高: 143百万円

赤ワイン、白ワイン、清酒、ブランデー、ラム、みりん等

世界主要17カ国で製法特許を取得! 当社の名を  
世界に広めたオンリーワン技術です

用途

製菓、プレミックス、スープなど

## 当期の概況

当事業年度における我が国経済は、企業業績の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、個人消費の低迷や急激な為替変動等の影響により国内景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当食品業界につきましては、製品の高付加価値化が進む一方で消費者の節約志向が継続しており、業界を取り巻く経営環境は厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社は「茶エキス」、「天然調味料」、「植物エキス」の製品開発に注力してまいりました。

当事業年度における売上高は、茶エキスにつきましては、玄米茶エキス等が減少したものの、緑茶エキス・ほうじ茶エキス・紅茶エキス等が増加したため、売上高は 3,081百万円 (対前年同期比 4.7%増) となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末椎茸等が減少したものの、粉末魚介・粉末昆布等が増加したため、売上高は 1,657百万円 (同 1.0%増) となりました。

液体天然調味料につきましては、鰹節エキス等が減少したものの、昆布エキス・椎茸エキス等が増加したため、売上高は 736百万円 (同 0.5%増) となりました。

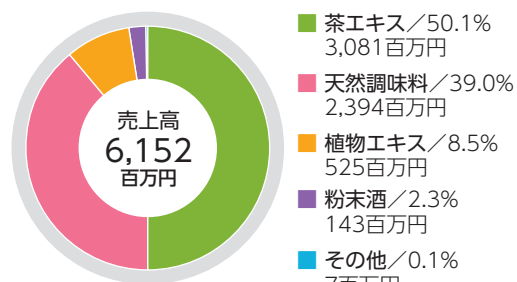
植物エキスにつきましては、機能性植物エキス等が減少したものの、果実エキスが増加したため、売上高は 525百万円 (同 10.5%増) となりました。

粉末酒につきましては、清酒タイプ・ブランデータイプ・ラムタイプ等が増加したため、売上高は 143百万円 (同 67.4%増) となりました。

以上の結果、当事業年度における売上高は 6,152百万円 (同 4.5%増) となりました。

損益面につきましては、売上高の増加により営業利益は 1,080百万円 (同 41.2%増)、受取配当金 56百万円 (同 24.0%増) を計上したため、経常利益は 1,151百万円 (同 38.2%増) となりました。また、固定資産除却損 4百万円 (同 5.6%増) を計上し、当期純利益は 810百万円 (同 348.9%増) となりました。

## 売上高構成比



## 中長期の取り組み

特に下記の3点を重点課題として取り組んでおります。

- ① 安全・安心な製品の提供**  
品質保証プロセスにおけるITシステムを活用した業務改善。
- ② 生産性の向上及び合理化**  
原材料コスト変動リスクに備えた基幹システム等のIT基盤整備。
- ③ 高付加価値製品の開発**  
製販一体となって、顧客ニーズの開拓、それにすばやく応えることが出来る体制づくり。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。